

## 授業科目 教職概論

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	健栄・スポ・看護
吉田 重和、佐藤 裕紀		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 本講義は、受講者が、教職の意義・役割・職務内容について理解し、教職に対する自らの適性を考察し、今後、教職課程の各科目を履修し続けるかどうかを決定できるようになることを目標とする。本講義を通じて、教育の専門家として必要な基礎的知識を身に付けるとともに、教育者に求められる使命感や教育愛を養うことが期待される。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健体育、養護、栄養教諭各々の仕事について基礎的な知識を持っている。</li> <li>2. 教師という仕事の本質や、熟練の教師と新人の教師の力量の違いについて大まかに説明することができる。</li> <li>3. 中学校教師の仕事内容や意義について大まかに説明することができる。</li> <li>4. 高校教師の仕事内容や意義について大まかに説明することができる。</li> <li>5. 学校における食育や、学校給食の意義について大まかに説明することができる。</li> <li>6. 学校教育における評価の種類、方法について大まかに説明することができる。</li> <li>7. 教師を取り巻く現状に関して、教師像の変遷や専門性の在り方、多忙化等を理解し、対処方法を説明することができる。</li> <li>8. 児童生徒の発達課題に関する基礎的な知識を持ち、大まかに説明することができる。</li> <li>9. 教職員の服務について基礎的な知識を理解し説明することができる。</li> <li>10. 不登校やいじめをはじめとした児童生徒の問題行動に関して基礎的な知識と対処法を理解している。</li> <li>11. 日本や世界の多様な教育実践に触れ、教育の多様性を理解している。</li> <li>12. 異なる職種間での連携の在り方について基礎的な内容を理解している。</li> <li>13. 各回のテーマに関してグループワークを通じて、他者の意見と自分の意見を交換しまとめることができる。</li> <li>14. 各回のテーマに関して自分の考えを表現し、他者の異なる考えも受け入れることができる。</li> <li>15. 教師の仕事に対する現状の自身の適性、知識と能力を客観的にとらえ、課題意識をもつことができる。</li> <li>16. 教員を取り巻く多忙化やバーンアウトといった現状を客観的にとらえ適切な対処法を理解している。</li> <li>17. 児童生徒の発達課題についての知識を踏まえ、発達課題に応じた適切な対処をすることができる。</li> <li>18. 不登校、いじめといった問題行動への適切な対処をすることができる。</li> <li>19. 教師の仕事に対する現状の自身の適性、知識と能力を客観的にとらえ、目標を持った大学生活を計画することができる。</li> <li>20. それぞれの職種の仕事内容について理解し、その職種を目指して成長していくことができる。</li> <li>21. 教師のキャリア・成長について理解し、生涯学び続けていく姿勢を身に付けている。</li> <li>22. 多様な教育実践に触れ、異なる価値観、考え方も受け入れることができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	保健体育・養護・栄養教諭の仕事			1, 12, 13, 14, 20	講義、グループワーク
2	教職科目履修の動機と目指す教師像			13, 14, 15, 19	講義、グループワーク
3	教職の本質			2, 13, 14, 21	講義、グループワーク
4	小学校教諭、養護教諭、栄養教諭の仕事の具体的内容			1, 12, 13, 14, 20	講義、グループワーク
5	中学校教師の仕事の具体的内容			3, 13, 14	講義、グループワーク
6	高校教師の仕事の具体的内容			4, 13, 14	講義、グループワーク
7	学校給食と学校における食育			5, 12, 13, 14	講義、グループワーク
8	教育評価の内容と方法			6, 13, 14	講義、グループワーク
9	教師を取り巻く環境：教師像の変遷と専門性			7, 13, 14, 16	講義、グループワーク
10	教師を取り巻く環境：教師の多忙化とバーンアウト			7, 13, 14, 16	講義、グループワーク
11	児童生徒の発達課題			8, 13, 14, 17	講義、グループワーク
12	教職員の服務			9, 13, 14	講義、グループワーク
13	児童生徒の問題行動			10, 13, 14, 18	講義、グループワーク
14	日本及び海外の多様な教育			11, 13, 14, 22	講義、グループワーク
15	教職科目履修の展望			13, 14, 15, 19	まとめ
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		教職概論—ワークシートを用いた実践的理解		大学教育出版会	2015
参考書		教職の意義と教員の職務 (第3版) 新版 教職論—「よい教師」への扉を開く	篠田信司 佐島群巳、小池俊夫	三省堂 学文社	2008・2,200円＋税 2010・1,680円
その他の資料		必要に応じて資料を配布			
【評価方法】 平素の学習状況(出席状況、授業態度、ワークシートや小レポートの内容)及び定期試験の結果を総合的に判断して評価する。			【履修上の留意点】 教職課程における最初の科目である。教員免許の取得を目指す学生は1年次に履修すること。		